



うえくさ

# 植草 たけし通信

2013年 vol.11

議会報告



Ue Kusa Takeshi Report

発行 植草たけし政務調査事務所 〒260-0031千葉市中央区新千葉3-6-11 Tel 043-238-1830 Fax 043-238-1831

平成24年第3回定例会にて、私がライフワークとしてきました「子供たちの明るい未来」「世代間の協和」「千葉市の未来のために」をキーワードに、私たちが生きる地域社会レベルでの取組みについて質問しました。その内容についてご報告いたします。

## 1. 国民健康保険について

自営業者、農漁業者の他年金生活者や失業者の加入が多い国民健康保険ですが、本年度に行った国民健康保険の繰上充用は、118億5千万円にもものぼり完全に収入を先食いし、保険料の未収金額を徴収したところでどうにかなるものではなく、制度崩壊している状態といっても過言ではありません。

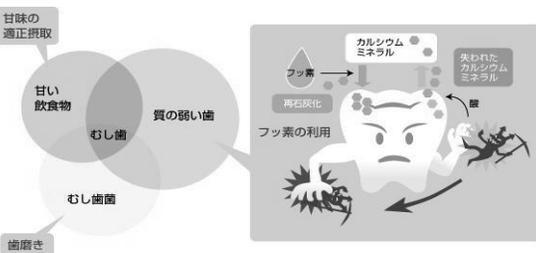
### Q 国民健康保険において、医療費適正化に向けて、どのような取り組みを行っていますか

A アクションプランに基づき、ジェネリック医薬品を使用した場合の医療費の差額を通知しているほか、生活習慣病等の早期発見・早期治療を目的とした特定健康診査等の受診率向上などに努めています。今年度からは、生活習慣病等の重症化を防ぐことを目的として、特定健康診査の結果、医療が必要とされながら、受診していない方に対し、保健師が受診勧奨などを行う訪問指導を開始したところであり、今後とも医療費の適正化に努めていきます。

### Q どのような専門職の方が市民の健康づくりに携わっていますか

A 健康に関する医学的知識に基づき、健康増進や生活習慣病予防などの公衆衛生活動を実践していくことが重要であり、医師をはじめ、保健師、栄養士、歯科衛生士等がそれぞれの専門性を活かしながら取り組んでいます。

### Q フッ化物を応用した虫歯予防は乳幼児のころから行うことが重要ですが、どのような取り組みを行っていますか



A 歯と口腔の健康は、全身の健康を保持増進するための重要な要素の一つとされており、千葉市では乳幼児健診などの機会をとらえ、むし歯予防に必要な、小さい頃からの歯磨きなどの生活習慣を指導するとともに、歯科衛生士などがパンフレットを用いながら、かかりつけ歯科医によるフッ化物の歯面塗布やフッ化物入り歯磨き剤の利用などを勧めています。

【植草たけしの要望】歯と口腔の健康は全身の健康を保持するために重要であり、歯科保健対策をさらに充実させるためには、歯科衛生士に加え、歯・口腔に関する専門的な知識を有する歯科医師が必要であると考えますので、是非、歯科医師を配置していただけるよう要望します。フッ化物については鴨川市の小学校で実施した事例として、子ども達の「1人平均むし歯数」が半分以下となり、「むし歯有病者率」も約半数になったとされています。子ども達の虫歯予防のためにも、集団対応である小学校等でのフッ化物うがいの取り入れをお願いします。大人に対しても生活習慣病の有病者、予備群を減らし国民健康保険の維持継続の助けになると思います。

是非、市としても、進んでアピールをするよう、よろしくお願い致します。

## 2. 少子高齢化対策について

少子高齢化が子どもに与える影響を考えますと、今の子どもたちは、核家族化によるコミュニケーション不足が起因する「自分勝手さ」「いじめ」「引きこもり」などの現象の遠因となっているのではないかと思います。

子どもたちが生活の場として、多くの時間を過ごす訳ですから、当然子どもルームや保育所には、保護者や家庭に代わり「しつけ」の部分も含め、その役割を適切に担うことが求められると考えます。

### Q 子どもルーム、保育所において「しつけ」あるいは規範意識、社会性を養うため、どのような取り組みを行っていますか

A 「子どもルーム」では子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、異年齢集団で生活し学習支援や遊び、諸活動を通して、思いやりや社会性、規範意識を学ぶように、指導員は発達段階に応じて、適切に支援・指導を行っています。「保育所」では、子どもたちは日々愛情豊かな大人に見守られ、安定した生活を送ることで人への信頼感が育まれてきます。大きくなるにつれて、自分の思うようにならないことを経験したり、友達と喧嘩しても子ども同士で解決しようと努力するようになります。その過程においては、保育士の深い愛情や適切な援助が重要であり、やがて自ら決まりに従うことの大切さや様々な気持ちをコントロールする力など、徐々に社会性や協調性、規範意識が身についていくものと考えています。乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期であり、今後も子どもたちが社会生活を送る上で必要な社会性や規範意識を身に付けることができるよう努めていきます。

## Q 学校以外の、子どもルーム、保育所における高齢者との交流、活用の取組状況について

A 「子どもルーム」では、青少年育成委員会が主催する「子どもまつり」や、いきいきセンターで行う「世代間交流」などの地域行事に参加したり、高齢者の方々の指導を受け、植物や作物作りなど地域の高齢者とさまざまな交流を深めています。

「保育所」では日常的な活動の中で、地元自治会や老人会等と交流を持ち相互に訪問したり、また、運動会等の行事や「地域活動」事業の中で、地域の高齢者の方々に施設に招いたりするなど、さまざまな交流を行っています。

都市化や核家族化の進行に伴い、祖父母との関わりや地域との関わり、異年齢との交流も少なくなっている中、保育所に入所している児童が高齢者施設や介護保険施設を訪問し、あるいは保育所に地域の方々や児童の祖父母を招待して、伝承遊びを教えてもらったり、昔話を語ってもらったりすることは、人に対する親しみや感謝の気持ちを育む上で重要な機会と捉えています。

また、散歩などの機会に、地域の方と挨拶を交わしたり地域の高齢者施設等を訪れたりする中で、人への関心を深め、人は周囲の人と関わり、支えあいながら生きているということへの「気づき」の機会としています。今後とも子どもルームや保育所が地域の子どもの健やかな育ちを支える「場」として、高齢者を始めとした地域との交流や連携を推進してまいります。

## Q 「保育所地域活動」事業の目的と内容、実施状況について

A 「保育所地域活動」事業は、多様化する保育需要に対応するとともに、保育所の専門的機能を地域住民のために活用し、地域に開かれた保育所づくりと児童福祉の向上を図ることを目的としています。

「世代間交流等事業」として入所児童が高齢者施設などを訪問したり、保育所に地域の高齢者を招き季節的行事やおもちゃづくり伝承遊びを行うなどのふれあい活動を行い、「異年齢交流等事業」では、就学後の児童や入所していない親子が来所し、遊びの仲間に加わり一緒に遊んだり、入所児童とともに地域的行事や野外活動を行うなどしております。また、地域の子育てを支える専門機関としての役割を果たすため、保育所で育児講座を開催し、地域の子育て家庭への支援を実施しています。子どもたちの健やかな成長、人格形成と共に「家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援を行う」という、保育所の果たすべき役割の達成に貢献するものと考えているところであり、今後も保育所と高齢者を含む地域との交流を積極的に推進していきます。

**【植草たけしの意見・要望】** 子どもたちの健全な育成のためには、高齢者を含む地域社会との交流や連携が非常に有効であると考えております。かねてより、元気で知識も経験も豊かな高齢者の方々に、子どもたちの育成の手助けをしていただきたいと考え行動してきました。今の地域社会の状況に目を向けますと、非常に多くの元気な高齢者の方々が活動しています。そうした高齢者の方々には、スポーツ、趣味の分野で活躍される方もいらっしゃるれば、地域活動、ボランティアで活躍される方も多数おられ、今後、ますます、高齢者の生きがいともなる活動の「場」が求められていくものと考えています。私は青少年相談員などとして子どもたちの活動などにも関わってきました。学校などでは「昔遊び体験」や地域の歴史を調べる活動の中など、様々な場面で高齢者の知識や経験を生かした活動が行われており、放課後子ども教室の中などでも、高齢者を含む地域の方々の協力を得た活動が行われ、こうした子どもたちと高齢者を結び付ける取組みが、一層広く展開されていくべきと考えます。

## ～ 近況報告 ～

市議会議員の任を受け1年半が経過しました。

昨年度は保健消防委員会副委員長として、本年度は環境経済委員会副委員長として働かせて頂いておりますが、日々勉強の毎日です。このような重要なポジションに推薦して頂いた先輩議員の皆様へ感謝するとともに、より一層学ばなければならないと感じております。

平成24年4月28日に長女が誕生しました。妻の里帰り出産でしたが、立ち会うことも出来、6月末に迎えに行っていました。現在「イクメン」としておむつ換えや、お風呂へ一緒に入るなど育児協力はもちろんの事、「パパ力」をつけるためのセミナーなどにも積極的に参加しております。時々親子で活動しておりますので、お会いした際には少し重くなった我が子を抱っこしていただければ幸いです。

平成24年5月20日には最初の選挙から多大なるご支援を頂いておりました、事務局長が膵臓癌でお亡くなりになりました。陰になり日向になりご支援頂いていた恩人の死に直面し、とても残念であり悲しく思います。ご冥福をお祈りすると共に、より一層の地域発展、「住んでよかった、これからも住み続けたい」と思える千葉市の為に全力で取り組んで行くことが、供養となると考え頑張っております。

昨年は、私の人生において大きな出来事が起こりました。ご支援頂いている皆様方へ、ご報告が遅くなりました事をお詫びすると共に、これからも植草たけしに叱咤激励頂きます様お願い申し上げます。

## 植草たけし

### 植草たけし 主な役職

千葉市青少年相談員連絡協議会副会長  
千葉県立幕張総合高等学校同窓会副会長  
千葉市社会福祉協議会西千葉地区部会監事  
西千葉地区コミュニティづくり懇談会監事  
登渡神社登渡会副会長 保護司  
薬物乱用防止教室講師 他  
・環境経済委員会副委員長  
・少子高齢社会問題調査特別委員会

皆様の市政へのご意見・ご要望をお聞かせ下さい

## 植草たけし事務所

〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-6-11-202

TEL 043-238-1830 FAX 043-238-1831

E-mail [info@chiba-uekusa.com](mailto:info@chiba-uekusa.com)

